

雑音の強さが表 1 の本文（JIS）に含まれる JIS について（案）

2020 年 10 月 16 日

解釈検討第 2 部会

解釈別表第十二において、雑音の強さの要求事項が表 1 に採用されている JIS 等に含まれる場合、表 2 の雑音の強さを適用すると二重要求となるため、次のように雑音の強さの発生源があっても表 2 の基準を適用しないことを表 1 で明確にする。これにより、表 2 の欄外を削除する。なお、表 2 の J55001（H27）は、2020 年 11 月 30 日まで有効であるため、改正案は、2020 年 12 月 1 日以降の改正とする。

現行（2020 年 10 月 16 日現在）				改正案			
表 1．電気安全に関する基準				表 1．電気安全に関する基準			
基 準			備考	基 準			備考
基準番号	表題	本文※		基準番号	表題	本文※	
J60669-2-1(H26)	家庭用及びこれに類する用途の固定電気設備用スイッチー 第 2－1 部：電子スイッチの個別要求事項	JIS C 8281-2-1：2012	IEC 60669-2-1(2002), Amd.No.1 (2008)に対応 令和 4 年 7 月 31 日まで有効	J60669-2-1(H26)	家庭用及びこれに類する用途の固定電気設備用スイッチー 第 2－1 部：電子スイッチの個別要求事項	JIS C 8281-2-1：2012	IEC 60669-2-1(2002), Amd.No.1 (2008)に対応 令和 4 年 7 月 31 日まで有効 <u>この基準を適用した場合、表 2 を適用せず、別表第十第 5 章を適用する。</u>
なし				J60974-1(20XX)	アーク溶接装置ー 第 1 部：アーク溶接電源	JIS C 9300-1:2020	IEC 60974-1(2017)に対応 <u>この基準を適用した場合、J60974-10(2019)及び表 2 の基準を適用する。</u>
なし				J60974-3(20XX)	アーク溶接装置ー 第 3 部：アーク起動及びアーク安定化装置	JIS C 9300-3:2020	IEC 60974-3(2019)に対応 <u>この基準を適用した場合、J60974-10(2019)及び表 2 の基準を適用する。</u>

J8528-8(H16)	往復動内燃機関駆動による交流発電装置パート 8：低出力発電装置に対する要求事項及び試験	別紙 199	International Standard Organization 規格（以下「ISO」という。） 8528-8(1995)に対応 令和 5 年 9 月 30 日まで有効	J8528-8(H16)	往復動内燃機関駆動による交流発電装置パート 8：低出力発電装置に対する要求事項及び試験	別紙 199	International Standard Organization 規格（以下「ISO」という。） 8528-8(1995)に対応 令和 5 年 9 月 30 日まで有効 <u>この基準を適用した場合、表 2 を適用せず別表第十第 9 章を適用する。</u>
--------------	---	--------	--	--------------	---	--------	---

現行				改正案			
表 2. 雑音の強さに関する基準				表 2. 雑音の強さに関する基準			
基 準			備考	基 準			備考
基準番号	表題	本文※		基準番号	表題	本文※	
<u>J55001</u> <u>(H27)</u>	<u>雑音の強さの規定</u>	<u>別紙 200</u> <u>(H27)</u>	<u>平成 32 年 11 月 30 日まで有効</u>	<u>(削除)</u>			
J55011(H27)	工業、科学及び医療用装置からの妨害波の許容値及び測定法	別紙 200 の 2(H27)	CISPR 11(2009:5th), Amd.No.1(2010)に対応	J55011(H27)	工業、科学及び医療用装置からの妨害波の許容値及び測定法	別紙 200 の 2(H27)	CISPR 11(2009:5th), Amd.No.1(2010)に対応
<u>J55013(H22)</u>	<u>音声及びテレビジョン放送受信機並びに関連機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法</u>	<u>別紙 201</u>	<u>CISPR 13(2001:4th), Amd.No.1(2003), Amd.No.2(2006)に対応</u> <u>平成 32 年 11 月 30 日まで有効</u>	<u>(削除)</u>			
J55014-1(H27)	家庭用電気機器、電動工具及び類似機器からの妨害波の許容値及び測定法	別紙 202(H27)	CISPR 14-1(2005:5th), Amd.No.1 (2009)に対応	J55014-1(H27)	家庭用電気機器、電動工具及び類似機器からの妨害波の許容値及び測定法	別紙 202(H27)	CISPR 14-1(2005:5th), Amd.No.1 (2009)に対応
J55015(H29)	電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法	CISPRJ 15(2017)	CISPR 15(2013:8th)に対応	J55015(H29)	電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法	CISPRJ 15(2017)	CISPR 15(2013:8th)に対応

J55015(H20)	<u>電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法</u>	<u>別紙 202 の 2</u>	<u>CISPR 15(2000:6th:3rd), Amd.No.1 (2001), Amd.No.2(2002)に対応 平成 32 年 11 月 30 日まで有効</u>	<u>(削除)</u>			
J55022(H22)	<u>情報技術装置からの妨害波の許容値及び測定法</u>	<u>別紙 203</u>	<u>CISPR 22(2005:5th), Amd.No.1(2005), Amd.No.2(2006)に対応 平成 32 年 11 月 30 日まで有効</u>	<u>(削除)</u>			
J55032(H29)	マルチメディア機器の電磁両立性 –エミッション要求事項–	CISPRJ 32(2017)	CISPR 32(2015:2nd)に対応	J55032(H29)	マルチメディア機器の電磁両立性 –エミッション要求事項–	CISPRJ 32(2017)	CISPR 32(2015:2nd)に対応

※本文別紙中の下線は、対応する国際規格との差異である。

なお、次の表の左欄に掲げる電気用品であって、上記の表 2 に示す基準（J55001 は除く。）が適用されないものは、表の右欄に掲げる基準に適合しなければならな

い。

<u>イ 配線器具</u>	<u>別表第十 第 5 章（光電式自動点滅器を除く）</u>
<u>ロ 携帯発電機</u>	<u>別表第十 第 9 章</u>
<u>ハイ及びロに掲げるものの以外のもの</u>	<u>別表第十 第 2 章から第 8 章までの該当する章</u>

※本文別紙中の下線は、対応する国際規格との差異である。

なお、表 1 に掲げる基準のうち、雑音の強さの規定が含まれる基準にあっては、表 2 の雑音の強さに関する基準を適用しない。